

事業計画書

①団体名	
②テーマ区分	指定テーマ (8・9) ・ 自由テーマ *該当するものを○で囲み指定テーマの場合は番号を記入してください。
③事業名	「ええとこ穂井田」農都交流ネットワーク推進事業
④採択回数等	2回目 *令和2年度に採択され、継続する事業については、いずれかを○で囲んでください。 新制度の適用 ・ 経過措置規定の適用 (補助率4/5以内、上限160万円) (補助率1/2以内、上限100万)
⑤事業目的	「人・農地プラン」の実質化に向け倉敷市、岡山県と協議をして、穂井田地区の農業を展望していく。桃部会と連携したまとまった園地確保による新規就農者の受け入れや、市民農園(体験・レンタル農園)の拡充による穂井田地区への交流人口増加などに取り組み、移住者の確保につなげる。また、持続可能な地域にするための経営母体がどんな事業で成り立つのかを考察し、事業計画まで進めたい。
⑥現状及び課題	「人・農地プラン」のアンケートの実施は出来たので、今後結果を地図化し、実質化に向けて賛同してくれる地域を選定し、倉敷市、岡山県との今後の進め方についての協議を行っていく。耕作放棄地を農地に再生させるための方策として、集積・集約化出来る農地はJAの桃部会にお願いし、出来ない農地は、市民農園(レンタル)を考えている。 農村地域活性化の方策として、備中地域の農村部との連携・情報共有が必要であるが、新型コロナ禍の中で進んでいない。 都市部の子育て世代との交流は、令和2年度に2回の体験会を開催して穂井田地区の魅力を感じていただいた。その内4家族の方は市民農園を借りて野菜が成長し、食べられるようになるのを楽しみに家族や友人と農作業を楽しんでいる。 穂井田小学校の生徒数は、現在45名(1年生10人、2年生7人、3年生6人、4年生8人、5年生6人、6年生9人)となっており、1年生、2年生、複式学級2クラス(3年生・4年生、5年生・6年生)の4教室で授業が行われている。人口減少を増加に転じるためには、子育て世代を中心に他地域からの移住が必須であると考えている。そこで移住に繋げていくためには、強力なストーリーづくりやイベント等の交流活動を活発に行っていく必要がある。これらを実行するためには、運営する母体がないとできないため、財源の確保を含めた母体の設立が課題となっている。
⑦事業内容	穂井田地区を持続可能な地域にするためには、農業を取り入れたライフスタイルと利益を出し続ける経営母体が必要。これらを解決するために、令和3年度は次のような事業を実施する。 1.「人・農地プラン」の実質化について。 ① アンケートの情報を基に作成した今後の農地耕作形態の分かる地図をもとに、「実質化された人・農地プラン」を作成する地域の選定を行う。 ② スケジュールを市及び県と協議をし、決定して実施する。 ③ 「実質化された人・農地プラン」を実行している地域と交流し、新たな取り組みの参考にする。 2.市民農園(体験・レンタル農園)づくりについて ① レンタル農園(4m×5m)20区画を新たに整備する。 4月中旬より募集し、4月下旬より貸し出しを始める。 ② 5月初旬に夏野菜、植え付け体験を実施するので、そのための圃場整備をする。(新たには増やさない) 3. 体験農園等でのワークショップについて ① 穂井田地区で「農」ある暮らしを体験してもらうため、企画を立案す

	<p>る。</p> <p>② 都市部の親子を対象にした種・苗植え体験及び収穫体験、穂井田地区の特産品である桃の収穫時期等に農家の暮らしぶりを見学してもらう地域散策を実施する。</p> <p>③ アンケートを実施し、今後の取組に役立てる。</p> <p>④ 体験農園でのワークショップに併せて、地域を持続させるための取組(地域での暮らし、農業体験を組み込んだ、観光資源を発掘し、備中エリアでの暮らし、農業体験周遊プランを企画)を行う。</p> <p>⑤④のイベントに備中エリアの地域おこし協力隊の参加を呼びかけ、協力隊同士の交流の場や取組の地域連携を図る。</p> <p>4. 玉島陶・服部地域まちづくり協議会が取り組んでいる事業のPRについて</p> <p>① HPをリニューアルして移住促進のためのページを追加する。</p> <p>② 市民農園やワークショップの募集、ワークショップ及び市民農園の様子などをその都度情報発信する。</p> <p>5. 持続可能な地域にするための移住促進、経営母体について</p> <p>① 県が主催する、都会での移住定住相談会に備中地域として参加する。</p> <p>② 農業体験参加者、市民農園(レンタル)利用者が移住に踏み出せるようなストーリーを作成。</p> <p>③ 地域を維持するための経営母体の事業計画書の作成 ・農業体験を組み込んだ着地型観光等を目指し、講師を招いて計画の検討を行ったり、既に地域協議会等が経営母体となって活動を行っている先進地へ視察に行ったりする。</p>																
<p>⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応</p>	<p>事業の実施は、その都度協議して行うか中止かを決定する。屋外での事業なので、三密は避けられているが、コロナ対策を十分に施し実施する。</p>																
<p>⑨今年度の成果目標と指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="328 1155 619 1227">成果目標</th> <th data-bbox="619 1155 1027 1227">指標</th> <th data-bbox="1027 1155 1238 1227">現状(数値)</th> <th data-bbox="1238 1155 1423 1227">目標(数値)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="328 1227 619 1299">地域内農地の適切な利用</td> <td data-bbox="619 1227 1027 1299">市民農園、研修圃場として利用できる土地名簿の作成</td> <td data-bbox="1027 1227 1238 1299"></td> <td data-bbox="1238 1227 1423 1299"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="328 1299 619 1370">地域の魅力発信 交流人口の増加</td> <td data-bbox="619 1299 1027 1370">・市民農園(レンタル)区画数 ・体験農園参加者数</td> <td data-bbox="1027 1299 1238 1370">・8区画 ・24組75人</td> <td data-bbox="1238 1299 1423 1370">・30区画 ・235人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="328 1370 619 1518">地域づくりのための持続可能な経営母体の確立</td> <td data-bbox="619 1370 1027 1518">・経営母体の事業計画書の作成(次年度より実行可能となる5年計画を作成) ・直売所の開設件数</td> <td data-bbox="1027 1370 1238 1518">直売所数 0件</td> <td data-bbox="1238 1370 1423 1518">直売所数 1件</td> </tr> </tbody> </table>	成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)	地域内農地の適切な利用	市民農園、研修圃場として利用できる土地名簿の作成			地域の魅力発信 交流人口の増加	・市民農園(レンタル)区画数 ・体験農園参加者数	・8区画 ・24組75人	・30区画 ・235人	地域づくりのための持続可能な経営母体の確立	・経営母体の事業計画書の作成(次年度より実行可能となる5年計画を作成) ・直売所の開設件数	直売所数 0件	直売所数 1件
成果目標	指標	現状(数値)	目標(数値)														
地域内農地の適切な利用	市民農園、研修圃場として利用できる土地名簿の作成																
地域の魅力発信 交流人口の増加	・市民農園(レンタル)区画数 ・体験農園参加者数	・8区画 ・24組75人	・30区画 ・235人														
地域づくりのための持続可能な経営母体の確立	・経営母体の事業計画書の作成(次年度より実行可能となる5年計画を作成) ・直売所の開設件数	直売所数 0件	直売所数 1件														
<p>⑩中期(数年)的な目標</p>	<p>利益を出し続ける経営母体が設立され、利益を持続可能な地域にするために使い、穂井田地区の農地の荒廃防止や地域資源の保護が図られる。</p>																
<p>⑪長期的な目標</p>	<p>穂井田地区を持続可能な地域にするためには、個人ではなく地域ぐるみで協力し合うことが不可欠であることが認識される。穂井田地区が、「みんな参加、お互い様、生きがい」という助け合いの大切さを大事にしている地域になる。移住者の増加。</p>																
<p>⑫翌年度以降の事業展開の予定</p>	<p>今年度作成する経営母体の事業計画に基づいて、市民農園、農業体験の企画、運営をする。穂井田地区の特産品である桃、ぶどうの直売所を設ける。</p>																
<p>⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント</p>	<p>当協議会は、平成29年度から令和元年度まで「倉敷市市民企画提案事業」に採択された事業を3年間実施した。玉島陶・服部地区のまちづくり計画を策定する中で地域住民アンケート調査を行い、その結果をから「どのような地域づくりをするのか」を十分に検討し、住民合意を基本に地域づくりを進めてきた。令和2年度に「人・農地プラン」のアンケートを実施して、農地利用の現況を把握することができたので、これを基に穂井田地区を持続可能な地域にするための事業を展開する。</p>																

<p>⑭ 想定される 役割分担</p>	<p>【団体】 確認及び実施計画の精緻化、協議会への報告、地域への伝達。 穂井田地域の耕作放棄地調査 試験的市民農園の整備 事業の広報、HP制作、SNS立ち上げ 備中地域の農村部と連携・情報共有をするためのネットワークづくりのための 機会に積極的に参加 試験的市民農園の耕作者募集 都市部親子等を対象とした農業体験(作付、収穫)及び交流イベントの開催 アンケートの実施 「人、農地プラン」実質化の候補地の選定 先進地域の視察 市民農園指定計画の作成 次年度以降の計画の作成 試験的市民農園の耕作者にアンケートの実施 県が主催をする移住定住相談会の参加</p> <p>【県民局】 備中地域の農業生産者、大学、各関係組織との調整 なぜ、穂井田地域の耕作放棄地調査をすることが必要なのかの助言 「人、農地プラン」への取り組みをすることの意義の共有化、助言 備中地域の農村部と連携・情報共有をするためのネットワークづくりのための 機会の情報提供、助言 事業の広報の支援、HP、SNSのリンク、シェア 「農」ある暮らし、ほどよい田舎暮らしの先進地域の情報、選定への助言 市民農園指定計画の作成、次年度以降の計画の作成への協力、支援 倉敷市農林水産課、JA、その他関係組織等との連絡・調整 事業の総括に関すること 実績報告書の作成への協力・支援 県が主催する移住定住相談会の情報提供</p> <p>【その他】 倉敷市農業委員会、倉敷市農林水産課、JA、穂井田地区桃部会、NPO法人 みんなの集落研究所、備中地域の農業法人、備中地域おこし協力 【理由・期待できる相乗効果】 「人・農地プラン」の実質化に向けて、多くの助言・提案をいただくととも に、備中地域の農村部との連携・情報の共有を構築していくため。 利益を出し続ける経営母体の主たる事業を模索しており、良い事例を参 考にするため。 備中県民局提案型協働事業に取り組むことで、県・市との強い繋がりがで き、今後の事業をスムーズに展開させることが出来る。</p>
-------------------------	--

<記入上の注意事項>

- 1 それぞれの項目についてはできるだけ具体的に記入してください。
- 2 「⑤事業目的」欄は、事業を通じて目指す将来的な姿(社会、経済、生活、環境など)、解決したい地域課題や受益者等を踏まえて記入してください。
- 3 「⑥現状と課題」欄は、理想と現実とのギャップ(問題)、事業実施の要因となる地域課題等について記入してください。根拠となる統計データや当事者ニーズ等があれば、それも示してください。
- 4 「⑦事業内容」欄は、課題解決や事業目的における意味・位置づけとともに対象者、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに分かりやすく記入してください。
- 5 「⑧天災地変、感染症等で⑦の事業が実施できない場合の対応」欄は、代替案の検討、事業縮小、事業中止などの考えを記入してください。

- 6 「⑨今年度の成果目標と指標」欄は、⑤の目的を果たすために今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を具体的に記入し、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値について記入してください。具体的な数値が得られない場合は、目標と指標のみを記入してください。
- 7 「⑩中期（数年）的な目標」欄及び「⑪長期的な目標」欄は、⑤の目的を果たすため、中長期的に目指すところ（中長期の成果目標）について、具体的に記入してください。
- 8 「⑫翌年度以降の事業展開の予定」欄は、「⑩中期（数年）的な目標」及び「⑪長期的な目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源等について記入してください。
- 9 「⑬事業実施に関連する活動実績・アピールポイント」欄には、備中地域への波及効果、事業の先進性、先駆性及び独自性に関すること、継続事業における活動実績や成果等について記入してください。
- 10 「⑭想定される役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を記入するとともに、その他関連団体や機関の想定される役割等を記入してください。

様式2号-2（第7条関係）

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
R3年4月中旬	市民農園(レンタル)の圃場整備 市民農園(体験)圃場整備 「人農地プラン」スケジュールを市、県と協議	陶地内 陶地内	10人 10人
R3年4月下旬	市民農園(レンタル)の募集開始	陶地内	
R3年5月初旬	玉ねぎ収穫体験、夏野菜種・植え付け体験	陶地内	55人
R3年7月下旬	夏野菜収穫体験保、穂井田地域散策	陶地内	65人
R3年8月	HPをリニューアルして移住促進のためのページを追加		
R3年9月初旬	秋物野菜種・苗植え付け体験		55人
R3年10月	農地利用の検討	陶地内	
R3年11月中旬	収穫祭		60人
R3年6月～R4年2月	就農相談会への参加 経営母体の事業計画書の作成(研修・協議・視察)		
R4年2月	研修圃場設置		
R4年1月～2月	①使用経費の精算 ②実施報告書の作成		
R4年3月	県民局との協議 事業報告		

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください(例：〇〇市文化センター、△△市内)。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。